

予 算 常 任 委 員 会 記 録

1. 委員会を開催した年月日・時刻及び場所

令和7年3月17日（月） 議 場

午後1時30分 開議 午後2時33分 休憩

午後2時50分 再開 午後3時40分 閉議

2. 出席した委員の名簿

委 員 長	寺 井 哲 也 (○)	
副委員長	松 永 幸 則 (○)	
委 員	丸 田 一 幹 (○)	
〃	松 田 義 人 (○)	
〃	備 後 克 則 (○)	
〃	岡 本 佐 市 (○)	
〃	川 口 雅 登 (○)	副議長
〃	酒 井 一 人 (○)	
〃	浜 名 等 (○)	
〃	櫻 井 英 一 (○)	
〃	新 田 義 昭 (○)	
〃	山 本 泰 夫 (○)	議 長
〃	浅 野 俊 二 (○)	

3. 傍聴した者 なし

4. 出席した説明員

川口副市長、八島教育長、山本総務部長、片山市民福祉部長、前田産業建設部長、和田総務部参事、山岸秘書課長、北山企画財政課担当課長、山本市民窓口課長、崎田まちづくり課長、安達災害復興推進室長、木村地域包括ケア推進室長、蓮本こども課長、森田デジタル推進室長、保志場税務課長、木曾会計管理者、中島教育次長、西村生涯学習課長、関軒企画振興室長、山本農林水産課長、政氏商工観光課長、寺井環境安全課長、田中地域整備課上下水道担当課長、小林選挙・監査委員事務局長、牧山文化財課長、木田総務課参事

5. 出席した事務局職員

事務局長 岡嶋 克己 事務局次長 松田 秀治 係長 澤田 朋子

6. 会議に付した議件

別紙付託表のとおり

7. 会議の概要

寺井委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。

次に、付託表に基づき執行部から説明が行われた後、休憩に入る。再会後、質疑・答弁が行われる。

終了後、採決に入り、議案第2号から議案12号は、いずれも全会一致で可決する。詳細は、別紙「委員会審査結果」のとおり。

次に、委員会における継続調査の申し出を議長に提出すること、併せて委員会報告については、委員長に一任することを決定する。

最後に、寺井委員長が閉会のあいさつをし、会議を閉じる。

8. 主な質疑・応答等

【付託案件に対する主な質疑・応答】

新田委員：一般廃棄物収集事業、指定ごみ袋は中国製か。袋にいくらぐらいの金額を使っているのか。

寺井環境安全課長：ごみ袋の制作にかかる費用は、6年度は約700万円、製品は中国製。

松永委員：市民提案型まちづくり支援事業は何件応募があつて、何件採択されたのか。また、新規事業で特色的なものはあるか。

崎田まちづくり課長：6年度は全体で7事業、新規事業3事業。地域のコミュニティを活性化するとか、獅子舞の伝統を広く周知していく事業だったと認識している。

松永委員：7事業応募があつて7事業採択。

崎田まちづくり課長：3事業の新規事業の申し込みがあつて3事業採択している。

松永委員：3件しかなかったということか。新規は3件だけ。

崎田まちづくり課長：継続が4件と新規が3件で計7件である。

松永委員：継続はそうなんだけど、新規は推移として減っている感じか。

崎田まちづくり課長：ここ数年は毎年3件程度、昨年度1件不採択があつたが、大体3件程度の新規の応募があつて、そのほとんどを採用している。

松永委員：地域おこし効力隊の応募はあつたのか、なかったのか。

崎田まちづくり課長：応募は数件あつた。ただ、羽咋市の採用の状況が初年度22万から徐々に報酬が上がっていくとか、暦年ではなく年度ごとの採用なので、年度途中の採用になると2年半の活動ということで、見送るとか待つ、ということがあつた。新年度は要項など見直して応募しやすいようにしたい。

松永委員：5つある内の職種3件に対してそれぞれ応募があつたので合計数件か。応募がなかった職種はないということか。

崎田まちづくり課長：大規模な営農を志したいとかには相談がなかった。

松田委員：子育て応援事業、令和6年度の出生見込み数は何人か。また、一人目、二人目、三人目、四人目、五人目に当たる人はそれぞれ何世帯か。

蓮本こども課長：年度末で86名を見込んでいる。このほか、妊娠の部分に関して89名を見込んでいるが、まだ動きがあると思う。

それぞれの内訳は第1子が29件、第2子が29件、第3子が12件、第4子が3

件、第5子以降はなしで、今とのところは73件支給している。

松田委員：公費解体事業で、請け負い業者が自費解体する際に、解体ごみの処分先が見つからなくて苦労していると聞いたが、どんな対策が可能か。

寺井環境安全課長：寺家工業団地の仮置き場は、自費解体の分は持ち込めない。クリンクルに持っていったもらえれば助かるが、申請の期日までないので、もしお困りの方がいれば環境安全課に相談してほしい。

浅野議員：起業家支援の補助金と開発の補助金。なかった理由は。

山本農林水産課長：漁業振興支援事業、新規起業家、特産品開発についても羽咋漁協と柴垣漁協には制度を伝えている。希望があれば進めるが、今はなかなか来ない状況。さらに声かけをして、要望があればこの事業を使って支援していきたい。

浅野委員：商店街振興支援事業で、街灯の更新をやめるということだが、それはどこの商店街か。そして一時的なものか。

政氏商工観光課長：中央通り商店街で、今年度入ってから中止となった。各商店街にいろいろ事情等もあり、市としては更新する場合に補助を行っている。令和5年度は2商店街が更新している。

浅野委員：商店街もだんだん弱っている。活性化法を考えないと、言ってこないから消えるのはしゃないみたいに聞こえる。

川口副市長：人口減少が進む中において、消費も小さくなるので、市民だけでなく外の人を巻き込みながらの事業が必要になってくる。行政としても、そのきっかけづくりをしたいと考えており、商店街のイベント、中心地にLAKUNAはくいをオープンさせたり、商店街の街灯補助も高率の補助であるので使っていただきたい。

松永委員：ひとり親家庭自立支援給付金事業で、高等教育とはどんなことをしているのか。

蓮本こども課長：現在一人だが、美容師の資格取得を目指して学んでいる。その前はもう一人、IT系のLPI認定資格というもので、Linuxというオペレーションシステムを使いこなすための資格である。

備後委員：被災者生活再建支援事業、被災宅地等復旧支援事業で、減額補正だがなぜか。

安達災害復興推進室長：被災者生活再建支援事業は、基礎支援分と加算支援金とあるが、2月末現在で基礎分は申請率92.4%でほぼ申請をいただいている。

加算分は、半壊以上の世帯が対象で28.4%、2人の申請率となっている。これは、再建方法が建設、購入、補修、賃貸とあり、その方法が決まってからの申請となるが、申請をしているのは補修や賃貸の方で建設、購入は時間がかかるということ。被災宅地等復旧支援事業。およそ380件の相談を受けているが、申請をされた方は2月末現在で56件である。道路などとの一体的整備との間で判断を保留している方が多い。今後の地区説明会の後判断し、新年度に申請があると想定している。

備後委員：被災者が2階に相談に来た時に、悩みを解消するためにも寄り添ってほしい。

安達災害復興推進室長：自宅の状況も踏まえ総合的に相談者に専門家派遣など対応している。

また、市のホームページやLINEなどでも相談の周知を図っているし、加算支援金の申請についても広報等で案内する予定である。

備後委員：基金の利子の増額補正、今何パーセントか。自治体の財政にどう影響が出るのか。

和田総務部参事：借り上げの率については、最初0.7%だったが、最近の見積もりで1%を超

えている。

木曾会計管理者：現在、国債や定期預金等に運用しており、平均利率は0.4%である。

松永委員：ボランティアセンター開設事業、減額ということだがニーズがなくなってきたということか。

寺井環境安全課長：ニーズが少なくなってきた。

松永委員：地域防災緊急整備事業で、ポータブルトイレ何個入れたのか。

寺井環境安全課長：各公民館に4台ずつ、計44台入れた。

松田委員：地域防災緊急整備事業、工事請負費で1,800万円、防災倉庫設置はどこに設置するのか。また、備品購入費で6,300万円あるが、この防災倉庫に全備品を入れるのか。その他にも配置するのか。

寺井環境安全課長：防災倉庫の設置場所は、羽咋公民館、千里浜公民館、邑知公民館、越路野公民館、一ノ宮公民館、上甘田公民館の6公民館。

備品は各公民館で収容できない部分は備蓄倉庫に入れる。

松田委員：各指定避難所にある備蓄品のリストはあるのか。広く市民に公開しておくことが大事と思う。羽咋市のデータ公開サイト、ここに公開すれば指定避難所の収容人数、備蓄品の状況もわかるので、今後活用してもらいたい。

寺井環境安全課長：今後検討し、公表できるよう考えたい。

備後委員：防災倉庫は建設ということだが、どのようなものか。

寺井環境安全課長：市役所の駐車場にあるものと似たようなもの。

松永委員：観光施設維持管理事業で、ゆ華の件だが、時期を見送れば物価が落ち着き、業者が見つかるということでもいいか。

政氏商工観光課長：時期が1年以上かかる先のことなので、物価が下がるという判断でなく、一旦見直すということで先送りしたもの。

松永委員：水道事業会計、スマートメーターの採択がなかったとはどういうことか。

田中上下水道担当課長：令和6年度国庫補助金の交付申請をしたが、地震の影響により交付されなかったということ。

新田委員：強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業で、宝達志水町は何の関係があるのか。

山本農林水産課長：JAの乾燥施設の関係だが、国県事業で羽咋市と宝達志水町も補助金を出す。JAはくいは、羽咋市に本店があるということで、羽咋市が国県、宝達志水町からお金をいただき、JAに支払うということ。

浅野委員：水道の老朽化が羽咋市も進んでいると思うが、今後直していくと莫大な金額となり、市の財政に影響が出てくると思うが。

田中上下水道担当課長：水道については、アセットマネジメント計画で、10年間の目標を立てており、更新は10年間で10億円と予定をしている。

浅野委員：10年間、10億円で終わるのか。

田中上下水道担当課長：10年の計画だが、10年終了したら見直しをして更新していく。

震災で下水道の支障移転という形でも更新していくので、今までの10年間より早くなると思っている。

【その他の主な質問・答弁】

松永委員：例えば仮設住宅に入っている人が、災害公営住宅に入るときにはボランティア対象になると思うが、どのようになるか。その時には、ボランティアセンターはないように思うが。

寺井環境安全課長：社会福祉協議会と相談する。

安達災害復興推進室長：仮設住宅には建設型と見なし等がある。県の復興基金から引っ越し時の転居費の助成がある。恒久的なところへ引っ越しする費用として1世帯当たり10万円の補助がある。

民間のアパートに入る場合に、敷金など初期費用に対して1世帯当たり20万円の支援がある。

また、公共住宅の入居費助成として、一律10万円という支援もあるので活用いただきたい。

浅野委員：仮設住宅に入っている数と体の様態はどうか。

片山市民福祉部長：社会福祉協議会に支えあいセンターがあり、被災者の相談等で見守り事業を行っている。定期的な訪問し、気になる方には次の機会に訪問したり、専門機関に繋げる必要があれば、健康福祉課や地域包括ケア推進室に繋いでもらい対応している。

安達災害復興推進室長：2月末現在の入居世帯数。石野団地は13戸の内12世帯。眉丈団地は54戸の内43世帯。となっている。

令和 7 年第 2 回羽咋市議会定例会議案付託表

予算常任委員会

番 号	議案番号	議 件
1	議案第 2 号	令和 7 年度羽咋市一般会計予算
2	議案第 3 号	令和 7 年度羽咋市国民健康保険特別会計予算
3	議案第 4 号	令和 7 年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算
4	議案第 5 号	令和 7 年度羽咋市介護保険特別会計予算
5	議案第 6 号	令和 7 年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算
6	議案第 7 号	令和 7 年度羽咋市水道事業会計予算
7	議案第 8 号	令和 7 年度羽咋市下水道事業会計予算
8	議案第 9 号	令和 6 年度羽咋市一般会計補正予算（第 1 2 号）
9	議案第 1 0 号	令和 6 年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）
1 0	議案第 1 1 号	令和 6 年度羽咋市水道事業会計補正予算（第 4 号）
1 1	議案第 1 2 号	令和 6 年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第 4 号）